

第1159 回放送分『感染症』3 回目

ゲスト：川村 英樹ドクター

二見いすず

今月のドクタートークは

「感染症」をテーマにお送りしています。

お話は、鹿児島県医師会 川村英樹（かわむら ひでき）ドクターです。

川村さん、どうぞよろしくお願いいたします。

川村英樹Dr.

よろしくお願いいたします。

二見いすず

先週と先々週は新型コロナウイルスの現状と治療についてお話しいただきました。

5 類になって2 年になりますが、感染症としての病原性は変わっておらず、

また感染力が高いので、重症化しやすい高齢者や基礎疾患のある方は

引き続き十分に注意することが大切ということでした。

今日は何についてお話しいただけますか？

川村英樹Dr.

今日はインバウンド感染症についてお伝えいたします。

二見いすず

インバウンド感染症。

これは海外から日本に来られる外国人のインバウンドのことでしょうか？

川村英樹Dr.

はい、そうです。海外から持ち込まれる感染症のことです。

二見いすず

鹿児島でも街を歩いていると、

かなりの数の外国人観光客のみなさんを目にしますよね。

川村英樹Dr.

そうですね。円安の影響、そして今年は大阪・関西万博も開催されています。

例年以上にさまざまな国の外国人観光客が多く来日すると思われるので、

今年はこのインバウンド感染症に気をつけたほうがいいでしょう。

二見いすず

インバウンド感染症にはどのようなものがあるのでしょうか？

川村英樹Dr.

まずは、先週・先々週でもお伝えした新型コロナウイルス感染症ですが、中国、香港、台湾では今もなおコロナが多いです。あとアジア地域や最近米国や英国でも増加しているのが、はしかです。

二見いすず

コロナの予防は先週もお伝えしたとおり、これまでみなさんもしてまいりましたのでよくご存知だと思いますが、はしかはどのような対策を行えばいいのでしょうか？

川村英樹Dr.

空気感染をするのではしかを発症している人と同じ部屋にいただけで感染することがあります。はしかの一番の予防はワクチンで免疫を獲得することが必要です。

二見いすず

そのほかに気をつけるべき感染症はありますか？

川村英樹Dr.

髄膜炎菌感染症です。主な症状としては、高熱や頭さらにひどくなると意識障害といった髄膜炎の症状に加えて、劇症型とよばれる多臓器不全を示すこともあります。飛沫感染するのでマスクをすることが予防につながりますが、集団生活などは高リスクとなるため注意が必要です。またワクチンもありますので、流行地域に行かれる方はぜひ接種をご検討ください。あと、今の時期は南半球でインフルエンザが流行する時期です。

二見いすず

こうしてお聞きすると、さまざまな感染症に気をつけないといけないですね。今日から夏休みという子どもたちが多いと思いますが、この夏は大阪・関西万博に行くことを予定されている方も大勢いらっしゃるでしょう。どのような対策をしていけばいいのでしょうか？

川村英樹Dr.

熱中症にも気をつけながらになりますが、屋内のパビリオンなどで混雑している場合はマスクを着用して、あと食事前やトイレの後はしっかり手洗いをするようにしましょう。また海外旅行後に感染症が疑われる場合は、事前に渡航地域なども含めて受診する医療機関にご相談ください。

二見いすず

よく分かりました。しっかり対策をとって、
みなさん楽しい夏休みをお過ごしください。
今月は、「感染症」をテーマにお送りしています。
お話は、鹿児島県医師会 川村英樹ドクターでした。
川村さん、ありがとうございました。

川村英樹Dr.

ありがとうございました。